



山田こうじです！

戦争あかん！ケアを府政の真ん中に！ 知事選挙・右京区府会補欠選挙を終えて

看護の対極、命を奪うな！

4月5日、投票票で行われた京都府知事選挙・右京区府会議員補欠選挙は、米国とイスラエルによるイランへの戦争が激しさを増す中での選挙となりました。

最高指導者をはじめ政府要人を殺害し、子どもを含む多数の民間人が犠牲となっています。国連憲章・国際法は、武力行使の禁止・国家主権の尊重を大原則としており、明白な国連憲章・国際法違反です。

日本政府は、米国とイスラエルによる先制攻撃を一言も批判せず、攻撃中止を求めています。スペインなどは、国内の基地の使用のみならず、領空の飛行すら認めていないのに対し、日本政府は国家主権の侵害となる、日本に駐留する在日米軍のイラン攻撃を容認する情けない姿です。

看護師・看護教員の山口咲子候補は「私はハッキリ



言います。看護の対極、命を奪う戦争はあかん！」とイラン攻撃中止し「大軍拡やめて暮らしとケアを」と訴えぬぎました。

医療崩壊を加速する 医療費削減は撤回を！

「ご存じですか？あなたの街の病院がいま危機的状況なのを！地域医療はもう崩壊寸前です」「このままではある日突然、病院がなくなります」と、日本病院会など6団体が緊急の声明を発表しました。

自民・維新の連立政権はアメリカ言いなりで9兆円を超える大軍拡の一方で、崩壊の危機にある医療を一層深刻にする病床削減など4兆円もの医療費削減を強行しようとしています。

京都でも深刻な事態が起こっています。京都新町病院が3月末で廃院となりました。職員らが「このままでは地域医療に貢献できなくなる」「地域医療を守れない」と訴え、廃院の差し止めを求める意見書を提出し、副院長ら幹部が、廃院手続きの執行を止めるよう仮処分申し立てを行っていましたが裁判所が却下していました。

公共の役割 一層重要！

公的病院は一層深刻です。京都市立病院の令和6年決算は純損益で14・4億円の赤字。過去最大の赤字となった令和5年に続き2年連続赤字となりました。

そもそも自治体病院は、民間が採算を見込めない地域や診療領域を担うために存在しています。

市立病院では、538床の病床を4月から62床減らし476床になり、令和8年に病床再編で440床体制にしたうえで「単年度経常黒字化を目指す」改革を進めようとしています。

自治体病院の公的役割の後退となります。自治体病院の使命は経営効率ではなく、公共性とアクセス保障にあります。コロナ禍で救える命が救えなかった教訓を忘れたかのような、医療体制の効率的運用だと「病床適正化」の名による病床削減ではなく医療・介護の充実こそ必要です。

山口咲子候補の看護学校教員の時の教え子や京都医労連の

役員さんが次々支援に来ていただき、医療現場の現状を紹介し支援を訴えていただきました。

ケアを府政の真ん中に！

生産性、効率優先で働く人の使い捨てが続き、賃金が上がらず、格差と貧困が広がっています。

自立自助・自己責任押し付けではなく、一人一人が大切にされる温かい政治が今ほど求められる時はありません。

GDPの主役は家計消費です。医療や介護、社会保障を充実し、ケアにやさしい政治こそ家計を温め経済の好循環につながります。

第234回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも...
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。
秘密厳守・相談無料です。お気軽にお越しください。

4月18日(土) 午後1時半~3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)

主催 日本共産党市会議員 山田耕司事務所
佐々木 義人 801-9379

まいとおおきこ

山田こうじです！

NO.367

知事選挙・府会議員補欠選挙の結果は残念でしたが、次につながる大きな成果も得ることができました。「自立自助・自己責任」の名の下で「効率性・生産性」に追いつけられ、「分断」が押し付けられるなか、地方自治体の役割が問われています。

地方自治法第1条には「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本」とされています。知事選挙でも府会議員補欠選挙でもそのことが問われました。「戦争あかん」「北陸新幹線よりケアにやさしい政治」が一層求められます。

